

DERWENT-ACC-NO: **2003-071251**

DERWENT-WEEK: 200307

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Planter unit has enclosure that is connected by bolts and nuts to other enclosures, and which has lower recess through which enclosure is attached to horizontal **rail**

PATENT-ASSIGNEE: MUKU S[MUKUI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0098999 (March 30, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2002291346 A	✓ October 8, 2002	N/A	007	A01G 009/02

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2002291346A	N/A	2001JP-0098999	March 30, 2001

INT-CL (IPC): **A01G009/02**, A47G007/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002291346A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - An enclosure is formed with an open upper part by side plates and a floor plate. The enclosure has a lower recess through which the enclosure is attached to a horizontal **rail** (B), and is connected by bolts and nuts to other enclosures.

USE - For handrail of e.g. balcony, veranda, wall, fence.

ADVANTAGE - Can be freely, safely and simply installed to handrail. Does not fall due to strong winds. Can be disassembled to ease storage and disposal.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure is the top view of planter units attached to a handrail.

Horizontal rail B

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/9

TITLE-TERMS: PLANT UNIT ENCLOSE CONNECT BOLT NUT ENCLOSE  
LOWER RECESS THROUGH  
ENCLOSE ATTACH HORIZONTAL RAIL

DERWENT-CLASS: P13 P27

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-055493

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-291346

(P2002-291346A)

(43)公開日 平成14年10月8日(2002.10.8)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
A 0 1 G 9/02	1 0 3	A 0 1 G 9/02	1 0 3 T 2 B 0 2 7
A 4 7 G 7/02		A 4 7 G 7/02	B

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2001-98999(P2001-98999)

(22)出願日 平成13年3月30日(2001.3.30)

(71)出願人 501129985

椋 周二

東京都小金井市貫井南町5丁目21番地10号

(72)発明者 椋 周二

東京都小金井市貫井南町5丁目21番地10号

(74)代理人 100109966

弁理士 伊藤 哲夫

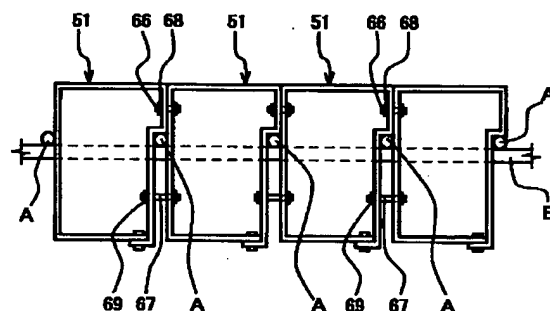
Fターム(参考) 2B027 ND01 NE08 NE09

(54)【発明の名称】 手摺取り付け用プランターユニット

(57)【要約】

【課題】 本発明は、居住者や第三者が室内外から同様に草花を觀賞することができ、また、落下等の心配のない安全な手摺取り付け用プランターユニットを提供するものである。

【解決手段】 本発明は、側板と底板とにより上方が開口した略立体形状体を形成し、該側板に横桟へ取り付け手段と、隣接配置する他の立体形状体とを相互に連結する手段を形成したことを特徴とする手摺取り付け用プランターユニットである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】側板と底板とにより上方が開口した略立形状体形成し、該側板に横棧へ取り付け手段と、隣接配置する他の立形状体とを相互に連結する手段を形成したことを特徴とする手摺取り付け用ブランターユニット。

【請求項2】連結手段を手摺の縦棧の前後に位置するように幅広の側板の上方の中心部を外した位置に配設してなることを特徴とする請求項1に記載の手摺取り付け用ブランターユニット。

【請求項3】側板の一部に突出部を形成してなることを特徴とする請求項1又は2に記載の手摺取り付け用ブランターユニット。

【請求項4】側板の端部を外方へ延出させて延長部を形成してなることを特徴とする請求項1又は2に記載の手摺取り付け用ブランターユニット。

【請求項5】横棧を、別体の長尺棒状体とし、該棒状体を係止金具により手摺の縦棧に取り付けてなる棒状体と組み合わせたことを特徴とする請求項1ないし4に記載の手摺取り付け用ブランターユニット。

【0001】

## 【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】本発明は、草花等を植えた植木鉢を、簡便に且つ安全にバルコニー、ベランダ、塀、柵等の手摺に取り付けることが可能な植木鉢のための手摺取り付け用ブランターユニットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、家屋のバルコニー、ベランダ、塀、柵等に植木鉢が飾られている。上記家屋に植木鉢を飾る場合は、当該バルコニー、ベランダ等の床上に載置したり、軒下から吊り下げたり、バルコニー、ベランダ等の手摺に当接させたり、手摺に直接取り付けたり、或いは予め形成されている植木鉢載置用手摺を利用したりしている。また、塀や柵等に取り付ける場合は、当該塀や柵に逆L字型の吊具や他の固定具を予め固定し、それを利用して植木鉢を取り付けている。

【0003】上記従来のバルコニー、ベランダ等の床上に植木鉢を載置する方法や手摺に当接させる方法は、居住者が室内側から草花を觀賞するには良かったが、それらを外から眺めると、觀賞に適したものではなかった。また、軒下より吊り下げの方法は、風により揺れたり、吊り下げのための紐状のものの破損による落下等の安全面での不安があった。更に、予め植木鉢載置用のものを用意した手摺や塀、柵等は、その形成のために高価なものとなっていた。また、手摺、塀、柵等に逆L字型の吊具や他の固定具を予め固定して植木鉢を取り付ける方法は、風により揺れたり、当該取り付け金具の破損による落下等、安全面での不安があった。また、固定状態が簡単のため、当該植木鉢の盗難の心配もあった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記従来の欠点を解決したもので、居住者や第三者が室内外から同様に觀賞することができ、また、落下等の心配のない安全な手摺取り付け用ブランターユニットを提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決したもので、その構成は下記の通りである。

【0006】側板と底板とにより上方が開口した略立形状体形成し、該側板に横棧へ取り付け手段と、隣接配置する他の立形状体とを相互に連結する手段を形成した手摺取り付け用ブランターユニットを特徴とする。

【0007】また、上記連結手段として、手摺の縦棧の前後に位置するように幅広の側板の上方の中心部を外した位置に配設してなる手摺取り付け用ブランターユニットを特徴とする。

【0008】更に、上記側板の一部に突出部を形成してなる手摺取り付け用ブランターユニットを特徴とする。また、上記側板の端部を外方へ延出させて延長部を形成してなる手摺取り付け用ブランターユニットを特徴とする。

【0009】更に、上記横棧を、別体の長尺棒状体とし、該棒状体を係止金具により手摺の縦棧に取り付けてなる棒状体と組み合わせた手摺取り付け用ブランターユニットを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明を実施例に基づいて以下に説明する。

【実施形態1】図1は、植木鉢を受けるブランターユニット1の斜視図を示し、外形は上方が開口した略立方体形状に形成されている。該ブランターユニット1は、側板2～5及び底板6とより構成されている。上記ブランターユニット1は、図2の展開図に示すように、平板状の板体を折り曲げて空洞の容器を立形成する。上記ブランターユニット1は、4面の側板2～5と、底面を形成する底板6とより構成されている。該側板2～5は、折り曲げ部7、8、9、10を略直角方向へ内側に折り曲げることにより空洞の立形状のものが形成される。

【0011】また、上記側板5に連続して、突出片11が形成されている。該突出片11は、該側板2の表面側に巻き込み、該側板2と連結することによりブランターユニット1の側部が一体的に形成されることになる。

【0012】該側板2～5の下方部には、底板6を取り付けるための貫通長孔12～17が各々の側板2～5に形成されている。更に、幅広の側板3、5となる下縁部の略中央部には、その各々の対向位置に切り欠き部18、19が形成され、手摺側の横棧Bが嵌入するための凹部を形成している。

【0013】また、幅広の側板3、5の上部には、該

プランターユニット1を手摺に固定及び隣接する他のプランターユニット1相互を固定するための連結孔20～23が形成されている。本実施例では各側板3、5の各々に2箇所形成している。隣接する他のプランターユニット1の孔と対向する位置に配設されることになる。上記連結孔20～23の形成位置は、図面に示された位置に限定すること無く、各々側板の上方の中心部を外した位置、つまり縦棧Aの配設位置が確保できれば良い位置に形成することができる。従って、図面に示した位置よりも各々中心よりに形成することができる。この位置の変化により、後述するように、手摺間より該プランターユニット1が脱落することが無いし、その傾斜角度を変化させることが可能となる。

【0014】更に、板体の両端となる側板2の端部及び突出片11の端部には、適数个の取付孔24～29が各々形成され、ピンやボルト・ナット等の取付手段により端部相互を取り付けて側部を形成する。

【0015】他方、底部側に配設される底板6は、その周辺に突起状の係止片30～35が形成され、該係止片30～35を側板の貫通長孔12～17に、その組み立て時に各々対応する箇所に嵌合することにより、底板6が取り付けられ、植木鉢を受ける支持体としてのプランターユニット1を完成している。上記側板2～5及び底板6とにより、立体形状体を完成させると、上方が開いた空隙部Cを有するプランターユニット1が形成されることになる。

【0016】図3は、上記によって形成されたプランターユニット1を手摺の縦棧A間に取り付けた状態の平面図を示している。プランターユニット1は、手摺となる縦棧A間に挿入し、手摺の横棧Bへ側板3、5の下縁部に形成された切り欠き部18、19を落とし込み、上記側板3、5に形成された連結孔20～23へボルト36、37を挿通し、隣接する他のプランターユニット1の対向する側板3、5の連結孔20～23へ該ボルトを挿通し、ナット38、39で螺合することにより縦棧Aを挟み、且つ縦棧Aの前後の位置でボルト36、37及びナット38、39により隣接するプランターユニット1、1相互を連結することになる。

【0017】上記ボルト・ナットによりプランターユニットと隣接する他のプランターユニット1とが相互に取り付けられているので、該プランターユニット1が傾斜しても該ボルト36、37が縦棧Aに当接することになり、手摺間より脱落することが無い。上記プランターユニット1には、別体の植木鉢を入れることになる。

【0018】

【実施形態2】上記実施形態1では、側板2～5は、平板状の板体を折り曲げて立体形成しているが、図4に示すものは、各側板40～43及び底板44が個別に形成されており、その各々の端部側を接着剤或いは他の連結手段によって相互に連結することにより立体形状のプラ

ンターユニットを完成させるものである。切り欠き部45、46及び連結孔47～50は、上記実施形態1と同様である。

【0019】

【実施形態3】図5は、プランターユニット51の他の実施例を示している。本実施例のものは、外形が略立体形状体に形成されているが、幅広側板の一部に突出部を形成するようにしたものである。上記プランターユニット51は、図6の展開図に示すように、平板状の板体を折り曲げて立体形成する。上記プランターユニット51は、側板52～57と底面を形成する底板58とより構成されている。側板52～57は、折り曲げ部59～64を略直角方向に折り曲げることにより立体形状のものが形成される。また、上記側板57に連続して、突出片65が形成されている。該突出片65は、該側板52の表面側に巻き込み、他端側の該側板52と連結することによりプランターユニット51の側部が一体的に形成されることになる。なお、突出片65を設けずに、側板52と側板57とを直接接合することにより略立体形状体を形成することも可能である。

【0020】該側板52～57の下方部には、底板58を取り付けるための貫通長孔が各々の側板52～57に形成されている。他の切り欠き部及び連結孔等は、上記実施形態1と同様である。また、図7に示すように、上記によって形成されたプランターユニット51を手摺の縦棧A間に挿入し、手摺の横棧Bへ側板53、57の下縁部に形成された切り欠き部を落とし込み、側板55、57に形成された連結孔へボルト66、67を挿通し、隣接する他のプランターユニット51の対向する側板53の連結孔へ該ボルト66、67を挿通し、ナット68、69で螺合することにより縦棧Aを挟み、且つ縦棧Aの前後の位置でボルト66、67及びナット68、69により隣接する他のプランターユニット51相互を連結している。

【0021】上記ボルト・ナットによりプランターユニット51と隣接する他のプランターユニット51とが相互に取り付けられているので、該プランターユニット51が傾斜しても該ボルト66、67が縦棧Aに当接することになり、手摺間より脱落することが無い。

【0022】また、本実施例のものは、側板54が幅広に形成されているので、例えば、ベランダ等の正面側或いは居室側から見ると手摺の縦棧Aが隠れている状態となり、縦棧Aを被覆して連続したプランターユニットを形成しているように構成されることになる。

【0023】

【実施形態4】図8は、プランターユニット71の他の実施例を示している。本実施例のものは、外形が略立体形状体に形成されているが、側板の一部に延長部72を延設形成するようにしたものである。上記延長部72は、上記実施形態1の側板4に別途取り付けても良い

し、実施形態2の各側板が各々別体として連結形成されるものにあつては、その内の正面側に位置する側板を幅広とすることにより延長部72を形成することができる。

【0024】当該実施例のものは、上記実施形態3のものと同様、プランターユニット71を手摺の縦棧A間に挿入し、手摺の横棧Bへ側板の下縁部に形成された切り欠き部を落とし込み、側板に形成された連結孔へボルトを挿通し、隣接する他のプランターユニット71の対向する側板の連結孔へ該ボルトを挿通し、ナットで螺合することにより縦棧Aを挟み、且つ縦棧Aの前後の位置でボルト及びナットにより隣接する他のプランターユニット71相互を連結している。

【0025】上記ボルト・ナットによりプランターユニット71と隣接する他のプランターユニット71とが相互に取り付けられているので、該プランターユニット71が傾斜しても該ボルトが縦棧Aに当接することになり、手摺間より脱落することが無い。

【0026】本実施例のものは、側板が幅広に形成されているので、例えば、ベランダ等の正面側或いは居室側から見ると手摺の縦棧Aが隠れいされている状態となり、縦棧Aを被覆して連続したプランターユニットを形成している構成となる。

【0027】

【実施形態5】図9の斜視図は、プランターユニットを手摺に取り付けている他の実施例を示している。上記実施形態1〜4では、プランターユニットの切り欠き部を手摺の横棧Bへ挿入することにより、該プランターユニットを取り付けていたが、手摺の適当な高さ位置に横棧Bが存在しない場合、別体の横棧となる棒状体80を手摺の縦棧Aに取り付けることにより適宜高さに於いてプランターユニットを配設できるものである。

【0028】図9に示すように、縦棧Aに横棧となる別体の長尺棒状体80を取り付けるために、U形状の係止金具81を縦棧Aに取り付け、該係止金具81に係止された棒状体80へプランターユニットの切り欠き部を落とし込むことにより、所定高さでのプランターユニットの据え付け位置を確保することが可能となる。

【0029】上記係止金具81は、縦棧Aの外形状に合ったもので、本実施例のものは略U形状で、その裏面側に剥離紙付き接着剤82又はガムテープ等の強力な粘着手段83等を縦棧Aに巻き込むことにより縦棧Aに取り付ける係止手段84及び別体の横棧となる棒状体80と係止される係止体85とより構成されている。なお、上記実施形態1〜5のプランターユニットの底部に適宜水の排水手段を形成することも可能である。

【0030】

【実施形態6】他の実施例として、プランターユニットを直接草花のための植土を受ける植木鉢として使用することも可能である。この場合は、プランターユニットの

底板が、植土を受ける役割をすると同時に、排水のための機能を達成するため適宜排水手段を形成することになる。

【0031】上記プランターユニットを直接植木鉢とする場合、供給された水を排出するために、底板に適宜貫通孔を設けたり、底板を適宜網状体の構成とする。上記底板に傾斜を設け、住居側に孔や網状体を形成することにより、当該水を居住側へ導くことが可能である。

【0032】

10 【実施形態7】上記実施形態に於いて、立体形状体は、平板状の板体を折り曲げて立体形成したり、側板及び底板を個別に形成し、その各々を連結して略立体形状体を形成している実施例を示したが、上方が開口している形状をしているので、合成樹脂製部材や他の部材により、射出成形やプレス手段等によって一体的に造ることも可能である。

【0033】

20 【発明の効果】本発明は、上記のように構成され、縦棧型手摺に自由に、また、安全且つ簡単に植木鉢を入れる手摺取り付け用プランターユニット或いは植木鉢となるプランターユニットを設置することができ、強風時に於いても落下の危険性が無く、簡単に草花等の植物の入れ替えができ、更に手摺の内側、外側両方から同時に草花等を観賞することが可能となった。更に、本発明の植木鉢は、板状のものを折り曲げたり、板状の単体を連結して組み立てることができるので、保管、運搬の際、かさばらず、また、廃棄の際にも簡単に処分することができる。

【図面の簡単な説明】

30 【図1】 本発明のプランターユニットの一単位を示す斜視図。

【図2】 本発明のプランターユニットを組み立てる前の展開図。

【図3】 本発明のプランターユニットを組み立てて手摺に取り付けた平面図。

【図4】 本発明のプランターユニットを組み立てる前の他の実施例の展開図。

【図5】 本発明のプランターユニットの一単位を示す他の実施例の斜視図。

40 【図6】 本発明のプランターユニットを組み立てる前の他の実施例の展開図。

【図7】 本発明のプランターユニットを組み立てて手摺に取り付けた他の実施例の平面図。

【図8】 本発明のプランターユニットを組み立てて手摺に取り付けた他の実施例の平面図。

【図9】 本発明のプランターユニットの一単位を示す他の実施例の斜視図。

【符号の説明】

A・・・縦棧

50 B・・・横棧

C・・・空隙部

1、51、71・・・プリンターユニット

2～5、40～43、52～57・・・側板

6、44、58・・・底板

7～10、59～64・・・折り曲げ部

11、65・・・突出片

12～17・・・貫通長孔

18、19、45、46・・・切り欠き部

20～23、47～50・・・連結孔

24～29・・・取付孔

30～35・・・係止片

36、37、66、67・・・ボルト

38、39、68、69・・・ナット

80・・・棒状体

81・・・係止金具

82・・・接着剤

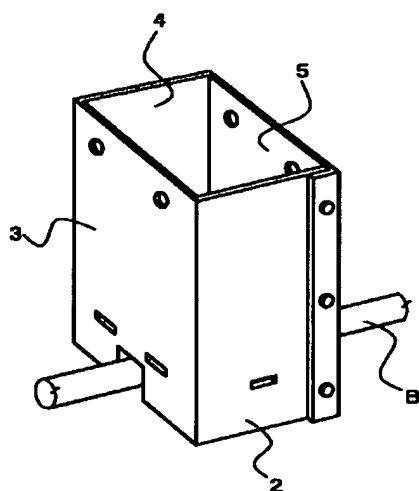
83・・・粘着テープ

84・・・係止手段

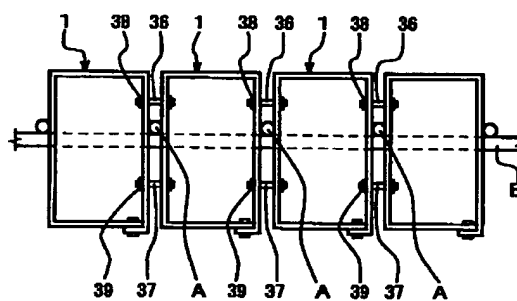
85・・・係止体

10

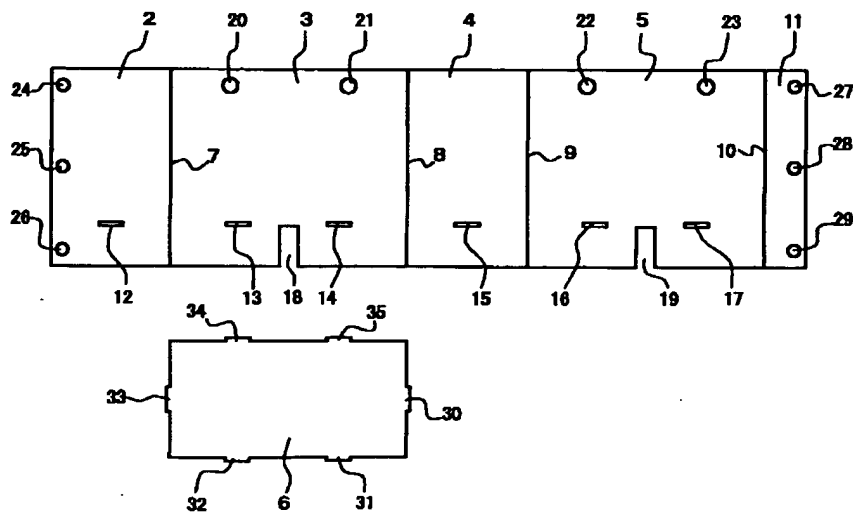
【図1】



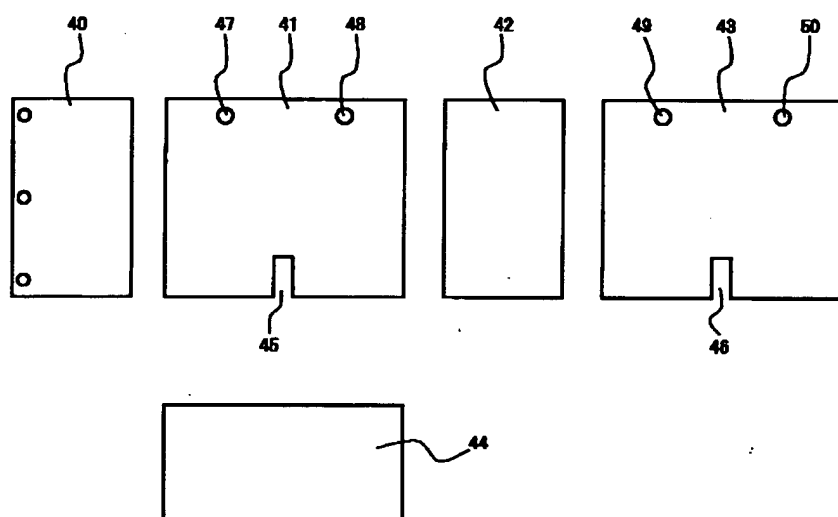
【図3】



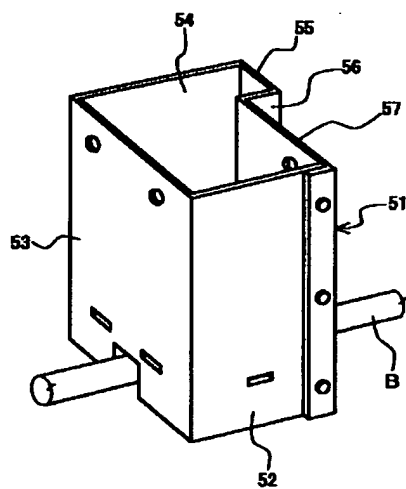
【図2】



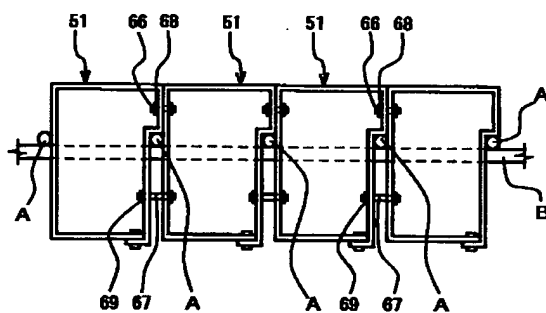
【図4】



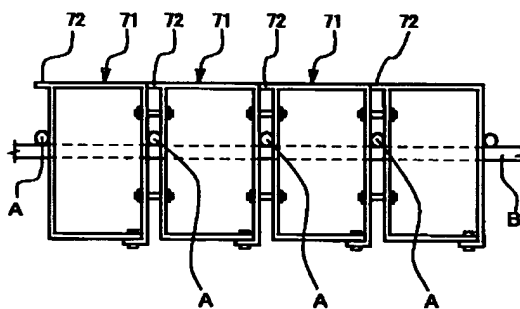
【图5】



【図7】

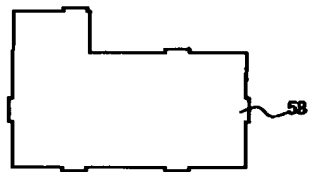
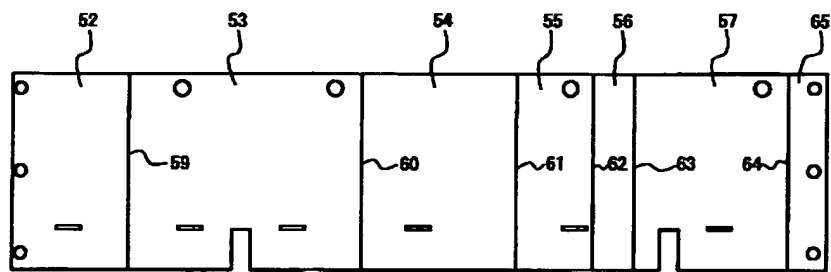


【図8】





【図6】



【図9】

